

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 6 月 28 日 (2007.6.28)

【公表番号】特表 2002-542730 (P2002-542730A)

【公表日】平成 14 年 12 月 10 日 (2002.12.10)

【出願番号】特願 2000-613161 (P2000-613161)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/335 (2006.01)

G 0 3 B 7/091 (2006.01)

G 0 3 B 7/099 (2006.01)

G 0 3 B 7/28 (2006.01)

G 0 3 B 15/00 (2006.01)

G 0 3 B 19/02 (2006.01)

H 0 4 N 5/235 (2006.01)

H 0 4 N 101/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/335 Q

G 0 3 B 7/091

G 0 3 B 7/099

G 0 3 B 7/28

G 0 3 B 15/00 F

G 0 3 B 19/02

H 0 4 N 5/235

H 0 4 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 4 月 6 日 (2007.4.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 最終の露出設定を生成する方法であって、

a) カメラ・イメージャを有する固体カメラ用の現在の露出設定として、複数の所定の露出設定のうち 1 つを選択するステップと、

b) 現在の露出設定を用いて、カメラ・イメージャにより取得されたシーンを生成するステップと、

c) 露出不足または露出過度である取得シーンに応じて、自動サーチ法によって、現在の設定となる露出設定の別の 1 つを選択するステップと、

d) 取得シーンが露出不足でも露出過度でもなくなるまで、b) と c) を繰り返すステップとを含み、前記サーチ法が、取得シーンが著しい露出過度か、または、著しい露出不足である間はバイナリーチョップを実行し、もし取得シーンがまだ露出過度か露出不足であっても、これら過度又は不足が著しいものでない場合は、細かいサーチに変えて実行することを特徴とする方法。

【請求項 2】 露出設定を用いて、取得されたシーンを決定する画素値を提供するカメラ・イメージャと、

カメラ・イメージャとは別個の測光回路を使用せずに最終の露出設定を自動的に生成する処理電子回路とを具備したカメラであって；

上記カメラは最小露出に対応する値と最大露出に対応する値から得られた複数の所定の露出設定から選択した現在の露出設定に対して、

- a) カメラ・イメージャが現在の設定を用いて取得シーンを決める画素値を提供し、
- b) 露出不足か、または、露出過度である取得シーンに応じて、自動サーチ法によって、上記処理電子回路が現在の設定となる複数の露出設定の中から別の1つを選択するものであり；

また上記カメラは現在の露出設定が、取得シーンを決める画素値を用いて決定されたときに、露出不足でもなければ露出過度でもない範囲になるまで、上記a)とb)を繰り返さない、取得シーンが非常に露出不足か或は非常に露出過度のいずれかである限り、自動サーチ法は露出設定のバイナリー・チョップを実行し、次いでもし取得シーンが露出過度又は露出不足であるかそんなに大きな値でない場合、細かいサーチに変更することを特徴とするカメラ。